

私は、高校 2 年生の化学の授業を担当し、生徒たちとの関わりや授業の準備・実施において多くのことを学びました。まず、驚いたのは、生徒一人一人に個人の iPad が配布されていたことです。そこで、私はこれまで ICT を使用した授業づくりの経験がありませんでしたが、化学という目に見えない現象を説明するには良い機会だと思い ICT を活用した授業作成に力を入れました。具体的には生徒たちが ICT を活用することで、生徒たちの調べ学習をまとめ、他のクラスメイトと共有する授業構成にし、生徒の関心や興味に合わせた学習を行うことや情報の発信力を身につけることを目的としました。その結果、学習意欲が高まり、自主的に課題に取り組む姿勢が見られました。

一方で、私自身が授業を楽しむことが重要であるとも学びました。教育実習では、授業の準備や実施に多くの時間とエネルギーが必要です。しかし、授業をしていく中で生徒の反応から、自分自身が授業を楽しむことで、生徒たちにもその楽しさや学びの魅力を伝えることができると気が付かされました。よって生徒たちの興味関心に合わせたアクティビティを取り入れたりすることで、生徒の反応から自分自身も充実感を感じながら授業を進めることができました。

教育実習を通じて、生徒たちが自ら学び、探究する姿勢を持つようになることや、自分自身が授業を楽しむことで、授業の質や効果が向上することを実感しました。